

～生命科学における先端技術講座実施報告～

1月9日(土)10日(日)に「生命科学における先端技術講座」を2年生の生物選択者対象に瑞浪市の岐阜県先端科学技術体験センター(サイエンスワールド)にて行いました。講座内容は、コロナウイルスの検査にも使用されている「PCR法による遺伝子解析」とDNA分子上の塩基配置順序などをもとに、個体や特定領域のDNAを同定する「DNAフィンガープリンティング実験」です。最先端の技術を生徒自らが触れることで、遺伝子解析技術について、しっかりと学ぶことができました。また、今年度はコロナウイルス感染予防の観点から1日の参加人数を減らし、2日間の実施としたため、一人一人に実験器具等が与えられ、実験・実習技術が例年に比べてより身につけているように感じられました。

◎行程

8 : 5 5 ~ 先端科学技術体験センターへ各自集合
PCR法による遺伝子解析実験 (前半)
DNAフィンガープリンティング実験
1 2 : 0 0 ~ 昼食・館内散策
1 2 : 4 0 ~ PCR法による遺伝子解析実験 (後半)
1 6 : 1 0 解散

◎生徒の感想

- ・授業で行ったことを使って実験をしてみて、自分の目で見ること自分たちが学んでいることはすごいことなんだなと思いました。
- ・コロナウイルスの判定としても話題となっているPCR検査法を自分たちでやってみて、とても手間のかかる作業であることや微量の試料を扱う大変な作業であることが分かった。
- ・授業で学ぶだけではイメージしにくかった実験を実際に行うことで理解を深めることができました。入試に出ても怖くないと思います。また生物選択者の仲が深まったこともよかったです。
- ・難しい作業や神経を研ぎ澄まさなければならない操作があって、気づいたら長い時間が経っていることがよくありました。楽しみながらDNAについて学べて将来を考えるきっかけになりました。
- ・普段できない体験ができて本当によかった！この分野に対してとても興味がわき、理系生物を選んでよかったと思った。
- ・今まで以上にDNAについて理解を深めることができたし、授業で分からなかったところが分かったので、嬉しかったです。大変有意義な時間でした。

◎ 実習の様子

